

高分子学会九州支部 若手研究者創発フォーラム

主催 高分子学会九州支部
日時 令和元年 3月 6日(金)15:00~17:40
場所 大分大学旦野原キャンパス 205号教室
〒870-1192 大分県大分市大字旦野原700番地

プログラム(敬称略)

15:00~15:50 刺激・環境応答性高分子微粒子の合成

(愛媛大学) 伊藤 大道

<講演概要>

分散重合で用いる分散安定剤に機能性高分子を適用し、微粒子への吸着挙動を制御できれば、表面構造を制御した機能性高分子微粒子を一段で合成することができます。ところが、微粒子形成過程における分散安定剤の吸着挙動には不明な点が多いのが現状です。本講演では刺激・環境応答性高分子微粒子を例にとり、粒径と表面構造の制御を試みた研究について紹介します。

15:50~16:40 水溶性ブロック共重合体の自己集合を用いた機能性ソフトマテリアルの創製

(関西大学) 河村 暁文

<講演概要>

ポリエチレングリコール(PEG)や双性イオンポリマーは生体適合性に優れた水溶性ポリマーであり、ドラッグデリバリーシステムや人工関節などさまざまなバイオマテリアルへと応用されている。われわれは、PEG側鎖を有するメタクリレートと双性イオンポリマーとの水溶性ブロック共重合体を設計・合成し、これを水溶性界面活性剤として用いることで、エマルションやミセルの形成に成功している。本発表では、この水溶性界面活性剤により形成される自己集合体やこれらを利用したカプセルやゲル微粒子の調製と機能性材料への展開について述べる。

(休憩)

16:50~17:40 機能性高分子粒子を基材とするソフト分散体材料化学

(大阪工業大学) 藤井 秀司

<概要>

講演者は、界面張力をドライビングフォースとする固体粒子の自律的な界面吸着現象に注目し、高分子粒子の液液および気液分散体(ソフト分散体)の安定化剤としての利用を提案している。これまでに、粒子径、表面化学を精密にデザインした機能性高分子粒子を使用し、ソフト分散体の安定化、およびその安定性制御に関する基礎研究を推進している。本会においては、気液分散体に注目し、高分子粒子で安定化された泡(アーマードバブル)、および高分子粒子で安定化された液滴(リキッドマーブル)について講演する。

参加要領

- 1) 参加費 無料
- 2) 申し込み方法 氏名、所属、E-mail アドレスを明記の上、下記申込先に E-mail にて
お申し込みください
- 3) 申込締切 3月4日(水)

申込・連絡先

大分大学 理工学部 共創理工学科 応用化学コース 檜垣勇次

E-mail: y-higaki@oita-u.ac.jp

Tel: 097-554-7895